

毎日放送

▶ 情報・生活

▶ パラエティ

▶ ドラマ

▶ ニュース

▶ ドキュメンタリー

▶ アニメ

▶ スポーツ

VOICE

ニュース

VOICE

天気

映像'07

情報・ご感想

■「給料未払い10年！社長を直撃」

2006/09/27

以前VOICEで追及した従業員に給料を払わない社長が、10年近くも前から不払いを繰り返していたことがわかりました。

派遣会社のほか、広告代理店も経営して元自衛官を巻き込んだというこの社長に、ついに従業員が乗り込みました。

〈派遣会社「エスシーエフ」・山添茂社長〉

「私、あなたから、これテレビなんですけど、あなたからそうやって責められることは何もないんですよ」

今年7月、社員に給料を支払わないことについて、堂々とインタビューに応じた派遣会社の社長。

総額1,600万円の不払いに、元社員7人は耐え切れず刑事告訴に踏み切った。

〈派遣会社の元社員〉

「信じて我慢していた。それを踏みにじったんですから」

不払いの給与は派遣社員に払われることなく、事務所は8月末に閉鎖。

それでも…

〈派遣会社「エスシーエフ」・山添茂社長〉

「まあ被害者ができることは、もうないですからね」

しかし、そう断言した社長が、東京で経営する広告代理店でも、給与の未払いを繰り返していたことがわかった。

〈広告代理店の元社員Aさん(被害額57万円)〉

「毎週のように『来週はいついつ払うよ』というふうに言われて、ずるずるときてしまったんです」

〈広告代理店の元社員Bさん(被害額26万円)〉

「いつもいつもウソをつくので」

代理店の社名は「ジャイアント・マザーシップ」

マザーシップは母艦を意味する。

〈派遣会社「エスシーエフ」・山添茂社長〉

「うちの会社っていうのは、防衛庁がなくなったらなくなりますけど、特殊な会社なので。日本に1

コシかない会社なので」

これは、自衛隊の事実上の広報誌ともいえる新聞だ。

月2回の発行で、全国11万人の自衛隊員らが購読しているという。

社長が経営する広告代理店は、この新聞の紙面に掲載する求人広告の契約を企業からとってくるのが仕事だ。



大阪に住む木村さん(仮名・41歳)。

去年6月、営業マンとしてこの代理店に入社した。

半年ほど働いたが、給料あわせて109万円が支払われなかった。

〈木村さん(仮名)〉

「(社長に)自衛隊からの表彰状を見せられたり、自衛隊の飛行機に乗ったことがあるとか。自衛隊の仕事をしているということは、間違いないんじゃないかと信用した」



この代理店では、パート社員が企業に電話を入れ、アポイントが取れた先を営業マンが訪れる。

様々な資格を持つ自衛官を採用することは、企業にとっても魅力があり、反応はいいらしい。

〈木村さん(仮名)〉

「自衛隊の新聞ということで、たとえば応接間に通していただいたり、人事の偉い方が直接出でられたりして」

一方、社長は自分の代理店を、自衛隊広報誌の事業部と勝手に名乗って求人雑誌に広告を出し、パート社員を募集していた。

パート社員たちも被害にあっている。

毎月、数百万円の単位で広告料収入があるのに、社員はほとんど給料を受け取っていない。

いったい、金はどこへ消えているのか。

複数の元社員の証言から、社長のぜいたくぶりが浮かび上がる。

〈広告代理店の元社員Aさん〉

「大阪に行く新幹線もグリーン車ですし、(社長の)誕生日のお食事会ですとか」

〈木村さん(仮名)〉

「銀座で飲み歩いたり、北新地に行ったり」

タレントが出入りするラウンジなどで宴会を開き、自衛隊関係者を接待することも多かったという。

これは、ある自衛官の退官パーティーでの写真だが、社長が主賓となっていた。

しかしこの自衛官もその後、社長から「代理店の幹部に迎えたい」と誘われ被害にあう。

〈被害にあった元自衛官(57)〉

「『幹部で迎えるよ』と、『名刺は先に渡しておくから』と、『ところで勤務にあたってね、ちょっと出資してくれへんか』と。500万から300万ときたわけですよ」

元自衛官は社長に100万円を貸したが返金されず、給料も払われずに半年で会社を辞めた。

実は大阪の木村さんも、入社後に200万円を社長に貸したままになっている。

〈木村さん(仮名)〉

「『君もヒラのままではまずいから、いずれ取締役になりたい。それにあって、お金をだしてもらえないと困る』と」



10年近くまえから、東京の労働基準監督署が社長の不払いに、その都度、行政指導の文書を出したが無視され続けていた。

元社員らは、不払い給料を直接差し押さえることを決めた。

代理店には今も営業マンら7人が残り、社長は小遣い程度の金を与えたり、給料をアップするからなどと言って働かせている。

不払い被害総額は、軽く2,000万円を超えている。

〈新宿御苑法律事務所・佐藤仁志弁護士〉

「社長は労働者を、あんまり人間扱いしていない感じ」



大阪の木村さん(仮名)は、社長を問いただすため東京にむかった。

裁判所で約束した支払日を過ぎても、まだ、一銭も入金がなかったのだ。

事務所のビルに着くなり、社長と鉢合わせに…

〈山添茂社長〉

「時間ないよ、ごめん」

〈木村さん(仮名)〉
「お支払いの件は？」

〈山添茂社長〉
「するよ、するよ」

〈木村さん(仮名)〉
「するよ、じゃないですよ」

〈山添茂社長〉
「予定通りするよ」

〈木村さん(仮名)〉
「絶対逃げないですよ」

〈山添茂社長〉
「11万ね。わかった。わかった。逃げません、逃げません」

こう約束して去った社長。

約束の時間に事務所に行くと、分割で返済すると裁判所で和解した金額350万円の一部、11万円が用意されていた。

〈山添茂社長〉
「これが遅れたのは本当に申し訳ない」

〈木村さん(仮名)〉
「電話をした時に『今から払うわ』と言ったら、うちは差し押さえせずに済んだじゃないですか」

〈山添茂社長〉
「そのときは、いろいろなことあって」

自衛隊からの感謝状がずらりと飾られている事務所。

その片隅に、新しい会社名を刷ったパンフレットが大量にある。

〈木村さん(仮名)〉
「なんで新しい会社を作る必要があるんですか？ジャイアントマザーシップは、完全にたたむんですか？」

〈山添茂社長〉
「たたむわけじゃないじゃん。エスシーエフ(派遣会社)も、たたんだりしないよ」

〈木村さん(仮名)〉
「なんでたたまないんですか。あんだけ給料未払いでみんな困ってるじゃないですか。たたんでらわないと」

〈山添茂社長〉
「それはいいです」

さらに社長は新しい会社に債務を引き継がないと断言し、こう説明した。

〈山添茂社長〉

「ジャイアントマザーシップはちゃんと私が営業して続けていきますから、偽装とかではありません。お金は、私、しゅくしゅくと払います。1日も遅れることはありません」

社長はこれまでたびたび社名を変更してきた。

未払い給料は、2年で民事上の時効を迎えるため、泣き寝入りとなるケースが多い。

〈木村さん(仮名)〉

「毎月、受け取りに来ます」

〈山添茂社長〉

「来なくていい」

〈木村さん(仮名)〉

「信じられないので。社長に何べんもウソをつかれたんで」

〈山添茂社長〉

「そしたら、1回振り込まなかったら来てよ。必ず振り込むから。絶対に振り込む」

さらに、新聞社側は社長が広告料を滞納していて、数千万円の損失があると説明している。

防衛庁自体が公費で4万部を購入している、いわば部内紙のような新聞を舞台に起きている不払い。

防衛庁側は、「今回の被害にはコメントを出す立場にない」とした。

〈被害にあった元自衛官〉

「(防衛庁という)間違いをおかしてはいけない組織の信頼性を利用した営業ですから、もう詐欺罪
でしょうね、これは」

東京の労働基準監督署は、来月にも社長を送検する方針で捜査を進めている。

だが、給料不払いでは罰金刑しか科せず、被害者たちの気持ちは収まらない。

〈広告代理店の元社員Aさん〉

「今まで私たちが思ってきた苦しみを、少しでも社長にも感じてほしいと思っています」

〈木村さん(仮名)〉

「自分の利益だけを追求してやっているということは、本当に許せない」

『Voice』では、あなたの情報を募集中です。 → voice@mbs.jp または06-6359-3622(FAX)まで。

❖❖❖ VOICE TOP ^

各ページに掲載の記事・写真の無断転用を禁じます。すべての著作権は毎日放送に帰属します。
Copyright (c) 1995-2007, Mainichi Broadcasting System, Inc. All Rights Reserved.